

放射線科に通院中の患者さん(又は通院歴のある方)へ（臨床研究に関する情報）

本院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 食道癌における T ステージ診断能の検討：気管および大血管への浸潤評価に対する MRI と CT の比較

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院放射線科 講師 氏名 河野由美子

《研究の目的》本研究では、手術前に撮影した食道がんの CT や MRI 画像と、実際に手術で取り出した組織の検査結果（病理所見）を比べて、MRI がどれだけ正確に病変の広がりやほかの臓器への影響を写し出しているかを調べます。とくに、呼吸の通り道である気管や、大きな血管への広がり分かりやすいかどうかを重点的に確認します。複数の放射線科医が同じ画像を読み取り、それぞれの判断がどのくらい一致するかも調べて、信頼できる診断基準を作ることを目指します。MRI は軟部組織をはっきり映せるため、より正確にがんの広がりを把握し、手術や治療の方法を決めるときに役立つ可能性があります。こうした取り組みにより、患者さんにとってより安全で適切な治療方針が立てられることを期待しています。

《研究期間》研究機関の長の承認日～2026年3月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

食道癌の患者さんで、2023年6月1日から2024年8月5日の間に手術を受けた方

●研究に用いる情報の種類

情報：年齢・性別・手術日・病理所見（T 分類、浸潤臓器）・術前検査画像（CT、MRI）

《情報の利用又は提供を開始する予定日》 2025年5月15日

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》関西医科大学附属病院 放射線科 担当医師 講師 河野由美子

大阪府枚方市新町 2-3-1 電話 072-804-0101（代表）